



平成27年8月12日  
海上保安庁

## JICA 研修員による東北地方被災港湾等の見学について

海図作成のための測量技術等の習得を目的として来日している JICA 研修員は 8 月 20 日、石巻港及び女川港を見学し、東日本大震災後の被災港湾の復興状況を学びます。翌 21 日には、最先端の自然災害研究について学ぶため、東北大学災害科学国際研究所を訪問します。

海上保安庁では、独立行政法人国際協力機構（JICA）と協力し、開発途上国で海図作成のための測量に従事する技術者を対象とした集団研修を昭和 46 年から毎年実施しており、これまで 42 カ国から 404 名の修了生を輩出しています。

今年度は、「海図作成技術・航行安全・防災のために」（国際認定資格 B 級）コースとして、6 月末から 12 月までの約 6 カ月間の日程で、8 カ国 10 名が本研修に参加し、海図作成のための測量や防災に関する講義・実習を行っています。

母国での防災対策に役立てることを目的とし、今般、この研修の一環で、石巻港、女川港の被災及び復興状況や、東北大学災害科学国際研究所において最先端の自然災害研究について学びます。

### ○ 見学スケジュール（石巻港及び女川港見学ルート詳細は別紙）

日 時	見 学 先
8 月 20 日（木） 12:10～13:40	石巻港見学
〃 14:10～15:10	女川港見学
8 月 21 日（金） 10:00～12:00	東北大学災害科学国際研究所訪問

### ○ 今年度の研修員（8 カ国 10 名）

コートジボワール（1 名）、エジプト（1 名）、ガイナ（1 名）、インドネシア（3 名）、ミャンマー（1 名）、フィリピン（1 名）、トンガ（1 名）、ベトナム（1 名）

※第二管区海上保安本部と同時広報



(別紙)

石巻港及び女川港見学では、地元ボランティアガイドから海外研修員に対して震災当時の被災状況や復興の様子について説明が行われます。取材を希望される社は、**8月19日(水)15時まで**に、下記取材申し込み先まで、電話又はFAX(下記申し込み用紙)により、申し込み下さい。

- 8月20日(木)石巻港、女川港における見学ルート(予定)
- ・石巻港(主にバス車内からの見学、一部下車しての見学を予定)  
12:10 石巻駅南口出発→大街道地区、工業港地区、石巻魚市場→雲雀野地区ガレキ積載場所→門脇小学校跡地(下車、取材可能)→13:40 石巻駅南口着、見学終了
  - ・女川港(主にバス車内からの見学、一部下車しての見学を予定)  
14:10 きぼうのかね商店街出発→女川町地域医療センター付近高台(下車、取材可能)→女川町内→15:10 きぼうのかね商店街着、見学終了

---

[取材申し込み用紙]

申し込み先

海上保安庁海洋情報部技術・国際課 担当 馬場

FAX 03-5500-7142

電話 03-5500-7124(内 2501)

件名 : JICA集団研修の取材申し込み

会社名

---

氏名

---

電話番号

---

FAX番号

---